

加賀市の家計簿を見てもみよう

もしも加賀市が、年収536万円の「加賀家」だったら？



一般会計予算: 367億500万円



加賀家の年収: 536万円

加賀市のお財布事情を「加賀家」の家計簿で見よう！【1ヶ月の収支編】

一般会計予算（367億500万円）を年収536万円（月収約44.7万円）の家計簿に例えてみました。

《収入》



給与【市税】
123,347円



諸手当
【地方交付税、国県補助金等】
243,636円



パート収入
【使用料・手数料等】
34,431円



貯金の取崩し
【繰入金】
12,251円



銀行からの借入
【市債】
33,002円

計446,667円

《支出》



食費
【人件費】
68,336円



家族の医療費
【扶助費】
92,749円



ローンの返済
【公債費】
52,114円



光熱水費や通信費など
【物件費、補助費等】
112,077円



子どもへの仕送り
【繰出金、投資、出資金】
64,440円



家・車・電化製品の
修理、買い換え
【維持補修費、普通建設事業費】
49,027円



親戚へ貸すお金
【貸付金】
6,813円



貯金
【積立金、予備費】
1,111円

計446,667円

加賀家の「借金」と「貯金」の現在地【令和8年度末 見込み】

一般会計予算を年収536万円の家計に置き換えた場合の、将来の備えと負担のバランス。

借金残高



うち一般会計の借金残高：628万6,356円

貯金残高

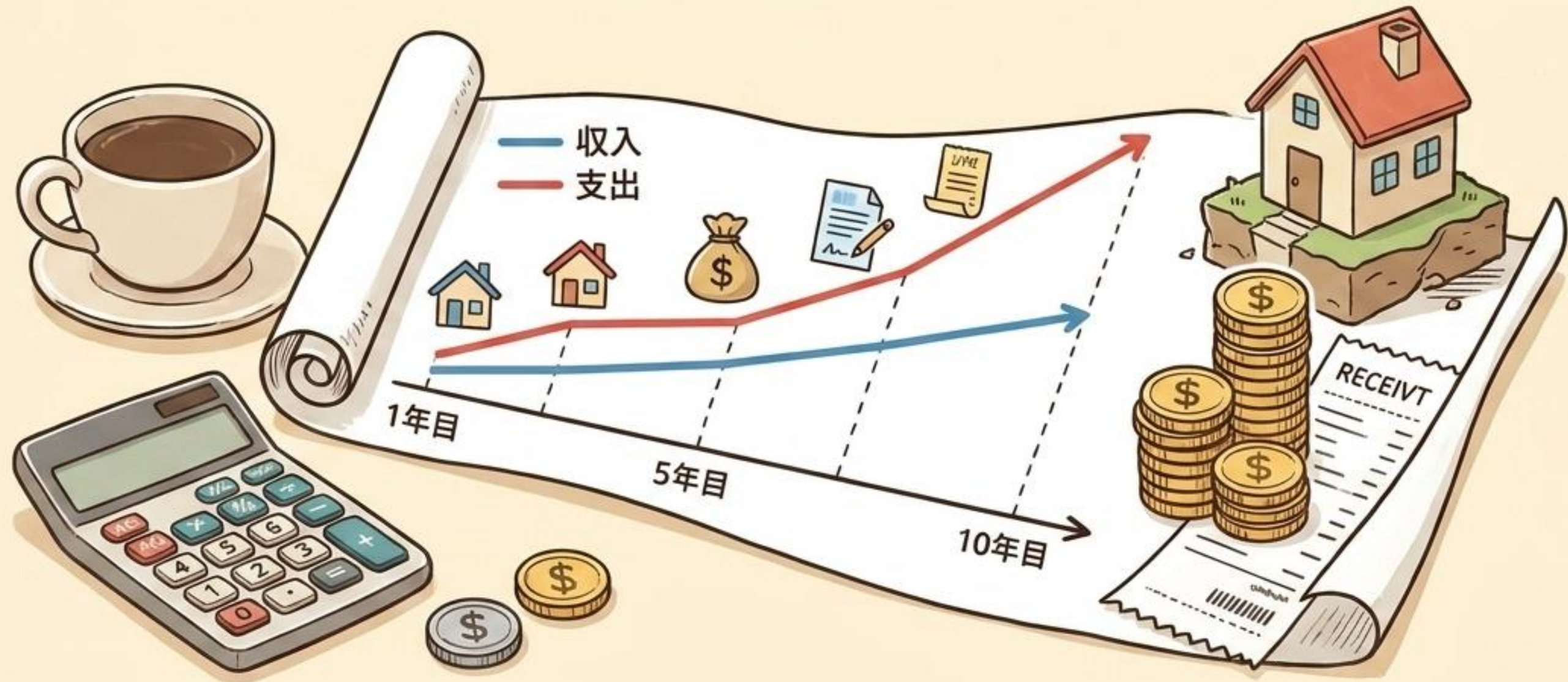


家計に例えることで、毎月のやりくり（収支）と、将来への備えの課題（貯金が少なく借金が多いこと）が見えてきます。



これまでの10年間の家計簿の推移を見てみよう

10年間の推移から読み解く、現状とこれからの課題



現状：10年間で家計の「収入」も「支出」も約21%増加

10年前（平成29年度）の550万円から、令和8年度は665.8万円に増加

【収入】総額：+21.1%増加



給与 = 市税
184.6万円
(+13.0%)

増えた理由
北陸新幹線敦賀開業に伴う関連施設の固定資産税の増や、都市計画税の税率改定(R7)など



諸手当 = 地方交付税・補助金等
364.6万円
(+27.7%)

【支出】総額：+21.1%増加 (665.8万円)



食費 = 人件費
102.3万円
(+19.8%)

増えた理由
人事院勧告に伴う給与の引き上げ、会計年度任用職員の処遇見直しなど



医療費 = 扶助費
138.8万円
(+11.8%)

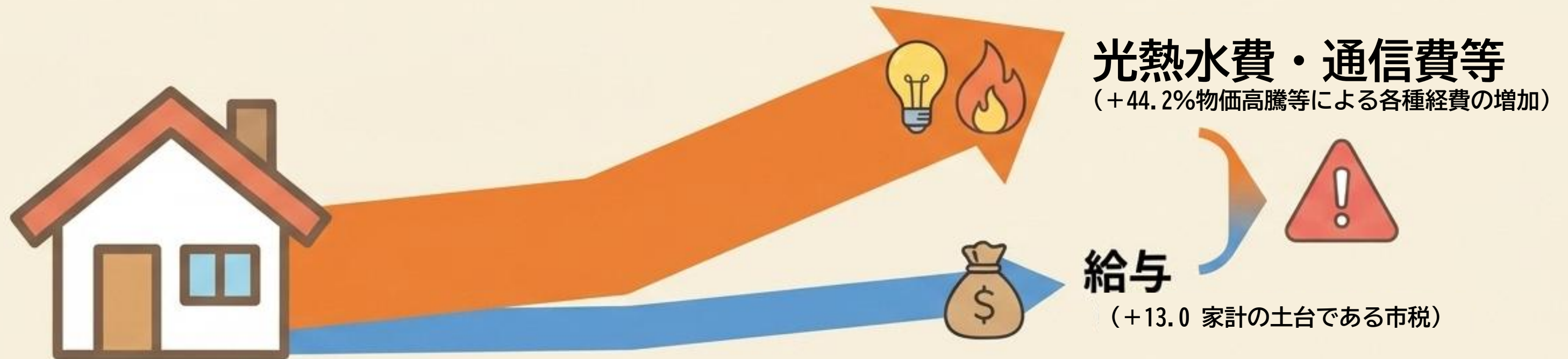
増えた理由
福祉関連費用の増加



光熱水費
・通信費等 = 物件費・補助費等
167.7万円
(+44.2%)

増えた理由
燃料費の高騰や、物価高騰による各種経費の増加

課題：急激な「支出の波」に、「基本の収入」が追いついていない 支出総額の増加に見合うほど、市税（給与）が増加していないという構造的な課題



家計を圧迫する最大の要因

物価・燃料費高騰による「光熱水費、通信費等」の急増（+44.2%）に対し、家計の土台である「給与」の伸びは+13.0%に留まっています。

今後の財政運営への影響

全体の収入は「諸手当(国・県からの補助金等)」や「貯金の取り崩し(繰入金)」で補われていますが、支出の増加率が、家計の給与の伸びを大きく上回っています。



結論：今後の財政運営には、これまで以上の留意と工夫が必要です。